

## 介護保険対象分の被保険者負担額の算出方法の例（1割負担の場合）

住宅改修については、住宅改修内容承認通知書（様式第4号）又は住宅改修費支給予定額変更通知書（様式第6号）に記載されている、改修費用総額・介護保険住宅改修対象費を必ず記載してください。

被保険者の負担割合証により自己負担割合を確認するとともに過去の給付実績についても確認してください。

- 1円未満の端数は切り上げます。

改修費用が支給限度額（20万円）内の場合

例1：改修費用が123,456円

$$\begin{aligned} \text{被保険者負担額} &= 123,456 \text{円} \times 1/10 \\ &= 12,345.6 \text{円} \\ &\div 12,346 \text{円} \text{（1円未満の端数切り上げ）} \end{aligned}$$

前記例1における領収証の記載例

<b>領 収 証</b>		平成〇〇年〇月〇日
被保険者氏名 様		
<b>金 額</b>	¥ 12,346 -	
住宅改修費(123,456円)の利用者負担額として、上記正に領収しました。		
		(所在地) (住宅改修施工業者・代表者名) 印

改修費用が支給限度額（20万円）を上回る場合

例2：改修費用が234,567円

$$\begin{aligned} \text{支給限度額内の改修費用の額} &= 200,000 \text{円} \\ \text{支給限度額を超える改修費用の額} &= 234,567 \text{円} - 200,000 \text{円} \\ &= 34,567 \text{円} \\ \text{被保険者負担額} &= 200,000 \text{円} \times 1/10 + 34,567 \text{円} \\ &= 20,000 \text{円} + 34,567 \text{円} \\ &= 54,567 \text{円} \end{aligned}$$

前記例2における領収証の記載例

<b>領 収 証</b>		平成〇〇年〇月〇日
被保険者氏名 様		
<b>金 額</b>	<b>¥ 54,567 -</b>	
住宅改修費(234,567円)の利用者負担額として、上記正に領収しました。 (内訳:介護保険対象額20,000円・対象外額34,567円)		
		(所在地) (住宅改修施工業者・代表者名) 印

例3 : 既に 123,456 円分の住宅改修を行っていて、今回の改修費用が 100,000 円

$$\begin{aligned} \text{支給限度額内の改修費用の額} &= 200,000 \text{ 円} - 123,456 \text{ 円} \\ &= 76,544 \text{ 円} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{支給限度額を超える改修費用の額} &= 100,000 - 76,544 \text{ 円} \\ &= 23,456 \text{ 円} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{被保険者負担額} &= 76,544 \text{ 円} \times 1/10 + 23,456 \text{ 円} \\ &= 7,654.4 \text{ 円} + 23,456 \text{ 円} \\ &= 31,110.4 \text{ 円} \end{aligned}$$

$$\div 31,111 \text{ 円 (1 円未満の端数切り上げ)}$$

前記例3における領収証の記載例

<b>領 収 証</b>		平成〇〇年〇月〇日
被保険者氏名 様		
<b>金 額</b>	<b>¥ 31,111 -</b>	
住宅改修費(100,000円)の利用者負担額として、上記正に領収しました。 (内訳:介護保険対象額7,655円・対象外額23,456円)		
		(所在地) (住宅改修施工業者・代表者名) 印